

登録コード	E7225300	開講年度	2026				
授業科目	バックカントリースキー実習					担当教員	瀧 直也 他
英文授業名	Backcountry Skiing					副担当	平野 吉直
単位数	1	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	実技	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	集中授業（2月中旬の4日間）として、戸隠スキー場周辺でバックカントリースキーを実施し、以下のことを習得する。 ・テレマックススキーの技術を習得する。 ・雪上での各種野外活動・アウトドアスポーツの技術を習得する。 ・冬季の特殊な自然環境に関する知識を習得する。						
(5)授業計画	①学部での事前学習 ガイダンスの実施 ②集中授業（2026年2月中旬3泊4日） 第1日目：教育学部から戸隠スキー場へ移動，テレマックススキーの練習（民泊泊） 第2日目：テレマックススキーの練習，半日ツアー，バックカントリースキーの準備（民泊泊） 第3日目：バックカントリスキーツアー（雪中泊） 第4日目：バックカントリスキーツアー，戸隠スキー場から教育学部へ移動，備品の片付						
(6)成績評価の方法	・授業をととしての授業態度（50%）とレポート（50%）で評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	授業をととしての授業態度では、授業で行う各種活動に取り組めれば「水準にある」、他のメンバーと協調して活動に取り組めれば「やや上にある」、他のメンバーと協調して活動に取り組むとともにテレマックススキーの高い技能が身に付けば「かなり上にある」、他のメンバーと協調して活動に取り組むとともにテレマックススキーの突出した技能が身に付けば「卓越している」と評価する。 レポートでは、①問題の設定が適切であり，②その問題の背景を説明できており，③その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，④それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており，⑤その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。① から⑤の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」と評価する。						
(8)事前事後学習の内容	ガイダンスで説明する内容を理解し，事前に必要な携行品等を準備する。 事前学習として，全体活動、各係の役割について企画・準備を行う。						
(9)履修上の注意	①事前にガイダンスを実施する。ガイダンスに出席しない学生の参加は認めない。 ②授業に必要な個人装備（寝袋，雨具，スキーウェア等）は，各自で用意する。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	メールにて受付ける。メールアドレス：taki@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	特になし						
【参考文献】	なし						